



ごあいさつ

公益財団法人 神奈川県体育協会

会長 おおとり 鴻 義久

日ごろから本会の事業推進にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

おかげさまで本会も今年度、公益財団法人に移行して3年が経過いたしました。

この間、公益法人として公正透明な運営に心がけ、「スポーツを通じた、魅力と活力あるかながわの創生」に向けた様々な取組みを展開してまいりました。

また、本年3月1日には創立75周年記念事業を滞りなく開催することができました。改めてご協力をいただいた関係各位の皆様にお礼申し上げます。

さて、昨年度本会の行った取組みを振り返ってみます。

はじめに、昨年8月に神奈川県がオリンピック・パラリンピック競技大会のための神奈川ビジョンを発表しました。これを受け本会といたしましては、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組みを策定し、実行に向けて予算要望を県教育委員会に行うとともに、ナショナルトレーニングセンター拡充施設を横須賀市へ誘致するための文部科学省への要望を行ったところであります。

また、スポーツ界を取巻く暴力行為の根絶に向け、暴力行為等相談窓口ホットラインの設置、専門相談員の配置など、暴力行為等相談窓口を設置するとともに、全ての加盟団体登録者に相談カードを配布し、周知を図ったところあります。また実際の相談を受けた際には、加盟団体のご協力のもとに細心の注意と配慮を持って、解決へ向けての対応を行っております。

そして今年度は既に、第70回国民体育大会冬季大会が終了し、紀の国わかやま国体に向けての関東ブロック大会が埼玉県で開催されております。本県選手団が国体で活躍することは、県民の皆様のスポーツに対する関心を高め、自身のスポーツに親しむきっかけとなり、健康の増進につなげていただけるものと考えます。

今年度もこれらの重要な取組みを推進して、多くの県民の皆様にはスポーツの素晴らしさをご理解いただき、スポーツに対する夢や期待を具現化できるよう努めて参ります。

どうぞ皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

【理事会・評議員会の報告】

■平成27年度事業計画及び予算を承認

平成27年3月14日（土）開催の平成26年度第5回理事会及び、3月28日（土）開催の平成26年度臨時評議員会において、平成27年度事業計画及び収支予算が承認されました。

■平成26年度事業報告及び決算を承認

平成27年5月30日（土）開催の平成27年度第1回理事会及び6月20日（土）開催の平成27年度定時評議員会において、平成26年度の事業報告及び収支決算が承認されました。

■新規加盟承認及び新規事業の承認について

平成27年度第1回理事会及び平成27年度定時評議員会において、「神奈川県グラウンド・ゴルフ協会」と「神奈川県日本拳法連盟」の2団体の新規加盟が承認されました。また、平成27年度定時評議員会において、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた選手育成事業の「アスリート育成事業」が新規事業として審議され、事業計画の変更とこれに係る補正予算が承認されました。

【平成27年度公益財団法人神奈川県体育協会事業計画】

【基本方針】

スポーツを通じ、活気にあふれ、豊かな人間形成ができる社会、だれでも、どこでも、いつまでも、性別や年齢、障害の有無にかかわらず、子どもから高齢者までのだれもがスポーツに参加し、楽しめる社会の実現を目指します。そのため、県内スポーツ団体との緊密な連携の下、スポーツを振興し、県民の体力向上とスポーツ精神の養成に寄与するための諸事業を積極的に展開していきます。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、本県全体として盛り上げていく取り組みを推進していきます。

【重点施策】

基本方針に基づき、加盟団体、県教育委員会及び関係機関と協働し、次の施策を重点的に進めます。

1 世界に羽ばたく選手を神奈川から

(1) かながわ・ゆめ国体を契機に培ってきた競技力向上対策のシステムを継承し、加盟競技団体や医科学支援スタッフなどが連携して、選手の発掘・育成・強化を推進し、第70回国民体育大会での上位入賞を目指し、神奈川県選手団を派遣します。

- ・選手強化事業
- ・スポーツ医科学振興事業
- ・国体コーチ等派遣・研修事業
- ・国体派遣事業 等

(2) 将来性のあるジュニア選手を発掘し、その個人に応じた一貫指導を継続的に実施できる体制の確立を支援し、ジュニア選手の発掘、育成の一層の充実を図ります。

- ・ジュニア選手強化事業
- ・一貫指導体制モデル事業 等

2 スポーツを通じた青少年の健全育成

スポーツを通じて、子どもたちが仲間や指導者と交流することによりコミュニケーション能力を育成し、自己責任やフェアプレーの精神を身につけ、他人に対する思いやりや多様な価値観を認めあう豊かな心を育み、国際的な友好と親善に貢献できる人間形成を目指します。

- ・スポーツ少年団の運営
- ・第33回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の開催
- ・指導者、リーダーの養成・育成事業等

3 だれでも楽しめるスポーツの推進

県をはじめとし、関係機関と連携してだれでも、どこでも、いつまでもという「Sports For ALL」(スポーツのユニバーサルデザイン化)を推進します。

- ・スポーツ教室の開催
- ・総合型地域スポーツクラブの育成・支援
- ・高齢者、障害者の競技会等の支援
- ・国際スポーツ交流の促進
- ・レクリエーション協会等との連携 等

4 スポーツと環境

スポーツと環境かながわ宣言にもとづく行動と実践を推進し、美しく豊かな自然との共存を目指して、神奈川の素晴らしい環境を次の世代に残すため、Reduce、Reuse、Recycleを念頭に環境に優しいスポーツ活動を推進します。

- ・「スポーツと環境」についての啓発活動など他の関係機関との連携 等

5 もうひとつの社会貢献活動

「もうひとつの社会貢献活動推進部会」を中心に、スポーツのさまざまな場面を活用した社会貢献活動への取り組みを進めます。

- ・ いじめ防止ポスターの作成・配布や、いじめ防止横断幕を加盟団体が開催するスポーツ大会等の会場に掲示して啓発するとともに、指導者が啓発活動を行うなど、スポーツのさまざまな場面を活用して「いじめ防止」の意識づくりに取り組みます。
- ・ かながわアスリートネットワークと連携して、県民のスポーツ振興に貢献します。

6 スポーツ振興を図るための諸事業

- (1) 県立スポーツ会館をスポーツ振興の拠点施設として管理運営します。
- (2) 公益財団法人として神奈川県体育協会の適正、健全な業務運営に努めます。
- (3) スポーツ安全協会の業務を受託し、スポーツ安全保険業務を通じてスポーツ活動及び社会教育活動の普及奨励を行います。
- (4) 機関誌「スポーツ神奈川」の発行やオフィシャルウェブサイトなどを通じ、県体育協会の施策と事業を総合的に広報し啓発します。
- (5) ゴルファー募金の募金活動を推進し、募金を青少年スポーツ振興、スポーツ医科学、社会貢献事業などに有効活用します。

7 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組み【新規】

県で策定した「オリンピック・パラリンピックのための神奈川ビジョン 2020」に掲げられている「神奈川からオリンピック・パラリンピックを盛り上げていく取組み」に沿って、スポーツ団体の組織強化やボランティアの育成等に取り組むとともに、県、市町村や加盟団体等と連携して、事前キャンプの誘致活動などを支援していきます。